

**第2期おおぐさ夢プラン**  
**【大草地域ビジョン】**

令和6年(2024)年3月

大 草 自 治 振 興 会

|    |                 |    |
|----|-----------------|----|
| 序章 | 計画策定にあたって       | 1  |
| 1  | 地域ビジョン策定の目的     | 1  |
| 2  | 地域ビジョンの役割       | 1  |
| 3  | 地域ビジョン策定の取組     | 1  |
| 1章 | 地域の概要           | 2  |
| 1  | 位置              | 2  |
| 2  | 人口・世帯数          | 3  |
| 3  | 地域づくり活動の状況      | 4  |
| 2章 | 地域の魅力・資源と問題点・課題 | 8  |
| 1  | 地域の魅力・資源        | 8  |
| 2  | 地域の問題点・課題       | 9  |
| 3章 | 地域ビジョン          | 10 |
| 1  | 地域の将来像          | 10 |
| 2  | 地域づくりの目標設定      | 10 |
| 3  | 地域づくりの体系        | 12 |
| 4  | 地域づくりの基本計画      | 13 |
| 5  | 計画の推進体制         | 19 |

## 序章 計画の策定にあたって

### 1 地域ビジョン策定の目的

大草地域は、大草、平坂、姥ヶ原の3つ大字で構成されており、広島空港、山陽自動車道河内及び本郷インターチェンジに近接するとともに、(主)本郷大和線(広島中央フライトロード)が地域内を南北に走り、高速交通条件に恵まれています。

また、農業が盛んで野菜・果実の特産品が多いほか、観光農園及びスポーツレクリエーション施設など観光資源が豊富です。

しかし、人口は若年層を中心とした流出、少子化高齢化が進行して地域活動の担い手が不足してきているとともに、公共公益施設及び商店が減少して、地域の活力が失われてきています。

こうした状況において、自分たちの地域のことは自分たちで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して、持続的な地域づくりに取り組むことが一段と重要になっています。

このため、大草自治振興会では、平成31(2019)年3月に策定した「おおぐさ夢プラン」とその後の取組を踏まえて、新たに「第2期おおぐさ夢プラン(大草地域ビジョン)」の策定に取り組みました。

### 2 地域ビジョンの役割

「第2期おおぐさ夢プラン(大草地域ビジョン)」は、大草自治振興会が中心になって取り組むことを総合的に示したもので、住民、関係団体などで地域づくりの方向性を共有するとともに、共通の指針とするものです。

また、計画内容を広く発信して、地域出身者、都市住民、大学生など、多様な方の幅広い応援を働きかけるために活用します。

### 3 地域ビジョン策定の取組

大草自治振興会では、各種団体の代表者などとともに「大草地域ビジョン策定会議」を組織し、「第2期おおぐさ夢プラン(大草地域ビジョン)」の策定に取り組みました。

また、計画策定にあたっては、住民の幅広い意見を聞くために、大草地域ビジョンの策定に関するアンケート調査、大草地域づくり意見交換会(ワークショップ)の開催及び第2期おおぐさ夢プラン(大草地域ビジョン)案骨子に係る意見募集を行いました。

# 1章 地域の概要

## 1 位置

本地域は、三原市大和地域の南部に位置しています。

地域中心部（大草公民館）から主要な場所まで車を利用するの所要時間は、三原市中心部（三原市役所）まで約35分です。また、広島空港まで約15分、山陽自動車道河内インターチェンジまで約20分、本郷インターチェンジまで約25分、JR山陽新幹線・山陽本線三原駅まで約35分です。

図 大草地域の位置



## 2 人口・世帯数

### (1) 人口の動向

本町の人口を住民基本台帳で見ると、令和5(2023)年で1,056人になっており、過去5年間で約13%減少しています。

年齢3区分別人口をみると、令和5(2023)年で0～14歳68人、15～64歳440人、65歳以上548人で、高齢化率は約52%になっています。

年齢別人口の推移をみると、過去5年間で0～14歳、15～64歳、65歳以上の各年齢層ともに減少となっています。

表 人口の推移

(単位：人，%)

| 区 分    |        | 実 数            |                |                | 増減数                     |                         |
|--------|--------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|-------------------------|
|        |        | H25<br>(2013)年 | H30<br>(2018)年 | R 5<br>(2023)年 | H30(2018)－<br>H25(2013) | R 5(2023)－<br>H30(2018) |
| 実<br>数 | 0～14歳  | 122            | 94             | 68             | △28                     | △26                     |
|        | 15～64歳 | 709            | 537            | 440            | △172                    | △97                     |
|        | 65歳以上  | 581            | 582            | 548            | 1                       | △34                     |
|        | 合 計    | 1,412          | 1,213          | 1,056          | △199                    | △157                    |
| 割<br>合 | 0～14歳  | 8.6            | 7.7            | 6.4            | －                       | －                       |
|        | 15～64歳 | 50.3           | 44.3           | 41.7           | －                       | －                       |
|        | 65歳以上  | 41.1           | 48.0           | 51.9           | －                       | －                       |

注：人口は、住民基本台帳（各年3月末現在）。

### (2) 世帯数の動向

本町の世帯数を住民基本台帳で見ると、令和5(2023)年で484世帯になっており、過去5年間で18世帯の減少となっています。

1世帯当たり世帯人員は令和5(2023)年で2.18人になっており、過去5年間で0.24人減少しています。

表 世帯数等の推移

| 区 分     | 実 数            |                |                | 増減数                     |                         |
|---------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|-------------------------|
|         | H25<br>(2013)年 | H30<br>(2018)年 | R 5<br>(2023)年 | H30(2018)－<br>H25(2013) | R 5(2023)－<br>H30(2018) |
| 世帯数（世帯） | 544            | 502            | 484            | △42                     | △18                     |
| 世帯人員（人） | 2.60           | 2.42           | 2.18           | △0.18                   | △0.24                   |

注：世帯数は、住民基本台帳（各年3月末現在）。

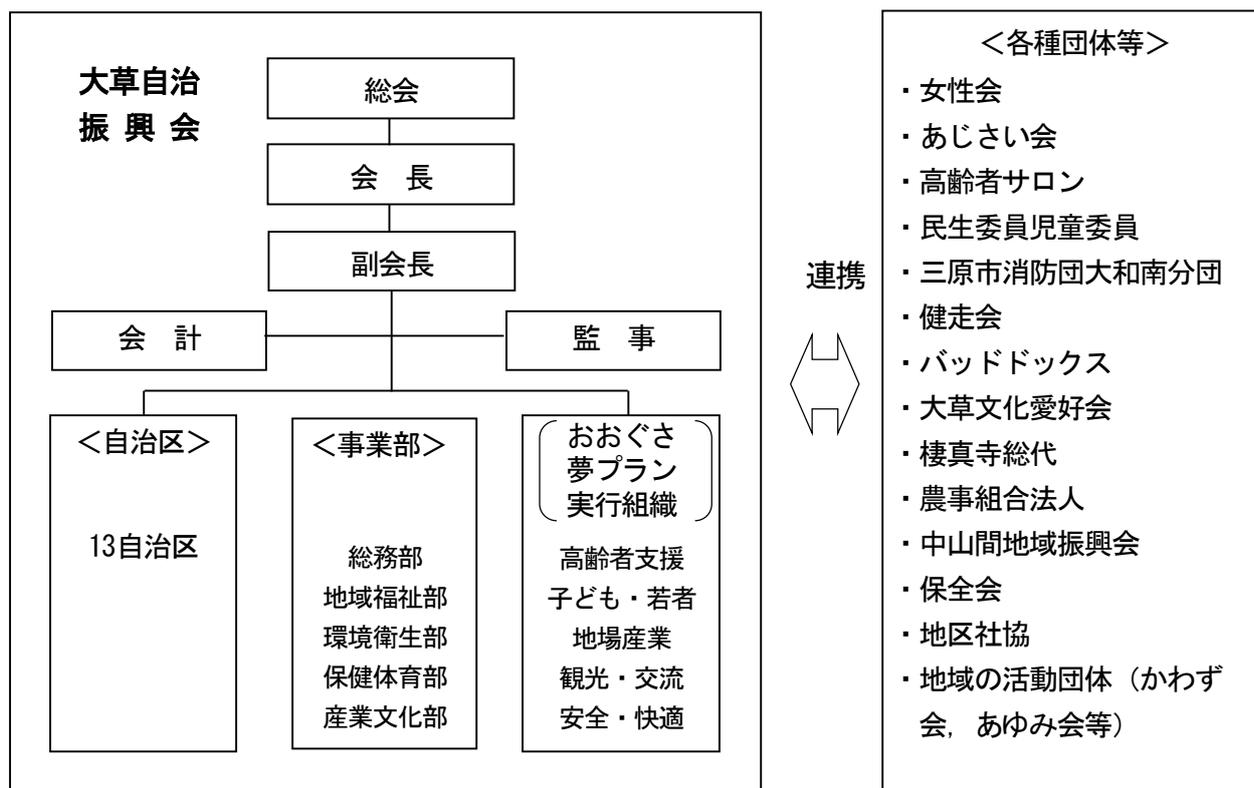
### 3 地域づくり活動の状況

#### (1) 大草地域の各種団体

##### ア 大草自治振興会

大草自治振興会は13自治区（多田，下中，河頭，定ヶ原，上福田，広石，下福田，上中，行広，安国寺，別所，細，姥ヶ原）で組織されており，総会で承認した年間活動計画を事業部及びおおぐさ夢プラン実行組織で実施しています。

図 大草自治振興会の組織



##### イ その他の団体

その他の団体の活動状況は次のとおりです。

表 その他団体の活動状況(1)

| 団体名    | 主な活動   |
|--------|--|
| 女性会    | ・公民館行事における食事支援   |
| あじさい会  | ・高齢者の方への弁当の配食（年3回）   |
| 高齢者サロン | ・高齢者が気軽に集い交流できる場づくりを目的としており，健康づくり，食事会及び趣味教養活動等の実施<br>・上中（すみれ）：月3回開催<br>・下中（東の木，親和会）：年6回以上開催<br>・上福田（だんらんの会）：年11回開催 |

表 その他団体の活動状況(2)

| 団体名              | 主な活動   |
|------------------|--|
| 民生委員児童委員         | ・高齢者，障害者，児童，ひとり親世帯等の調査・実態把握，相談支援，各種行事への参加協力や自主的な福祉活動等                                    |
| 健走会              | ・ジョギングによる健康づくり<br>・棲真寺環境草刈り，竜王山登山道の草刈り活動へ参加  |
| バッドドッグス          | ・自治振興会の活動へ参加（草刈り（道，田），溝掃除，資源ゴミ回収等）   |
| 大草文化愛好会          | ・大草民俗資料館にある文化財の保存・整理，管理活動（大和町ふるさと文化愛好会に所属）<br>・大草民俗資料館及び棲真寺一帯の草刈りを自治振興会に協力して実施している（各年1回） |
| 自主防災組織           | ・災害時の避難場所の開設・援助，防災訓練の実施  |
| 三原市消防団大和方面隊大和南分団 | ・出初式への参加，消防屯所の消防設備等の管理，消防訓練，火災予防広報活動，災害時の見廻り，救助支援等の実施                                    |
| 棲真寺総代            | ・檀家の居ない寺院で，地域住民が棲真寺の観音講祭，開山忌の開催，草刈り，ハス池整備等の実施  |
| 農事組合法人           | ・農地を面的に集積し，効率的で持続可能な経営の確立を目指して設立された組織で，農地保全・管理，米・野菜等の生産・販売，地区環境の保全活動等の実施                 |
| 中山間地域振興会         | ・中山間地域の条件不利農地を保全するとともに，農地の多面的機能（国土保全，保健休養，自然生態系）の維持・保全を目的として，集落，自治区等を単位として活動             |
| 保全会              | ・農地・農業用施設（水路，農道，ため池等）の維持，農山村環境の保全を目的として，集落，自治区等を単位として活動                                  |

## (2) 主な地域行事

本地域の主な行事は、次のとおりです。

表 大草自治振興会の主な行事

| 開催時期 | 名 称                  | 主な活動内容   |
|------|----------------------|--|
| 6月   | 夏祭り口説き練習開始           | 6月～8月に大草公民館で週1回実施  |
| 7月   | 4地区対抗パークゴルフ大会        | 13自治区を4つのチームに分けて、対抗戦を実施  |
|      | 棲真寺草刈り               | ・棲真寺境内の草刈り   |
| 8月   | 納涼夏祭り大会              | ・盆踊り，屋台，くじ引き等  |
| 9月   | 敬老長寿祝賀式              | ・75歳以上の高齢者を対象として大草公民館で開催<br>・ステージイベント，会食，記念品の配布等                               |
| 10月  | 竜王山登山道草刈り<br>竜王山早朝登山 | ・スポーツの日（祝日）に，竜王山山頂で朝日を見る行事で，地域住民だけでなく他地域からも参加                                  |
|      | 三原市市民体育大会            | ・三原市全域から住民組織が集まり，開催される大会へ参加  |
|      | だいわ元気祭り              | ・大和町全域を対象とした祭りへ参加  |
| 11月  | 生涯学習発表会              | ・大草公民館等で活動する団体の発表会   |
| 12月  | 大草ふれあい駅伝             | ・大草・平坂地区で実施<br>・参加チームは大草地域だけでなく他地域からも参加しており，令和5年度で41回目の開催                      |
|      | レンコン掘り体験会・野菜市の開催     | ・おおぐさ夢プラン実行組織で，町外の方にレンコン掘り体験を提供するとともに地域特産品のPRの実施                               |
| 3月   | 棲真寺環境草刈り及び植樹         | ・棲真寺境内の草刈り，公園内への桜等の植樹  |
| 周年   | 高齢者支援活動              | ・民生委員児童委員と連携した一人暮らし高齢者等の見守り<br>・おおぐさ生活支援隊によるちょっとした困りごとの支援<br>・ぶらり訪問だよりの発行（月1回） |
|      | いこいの場                | ・大草公民館にウォーターサーバーを設置し，地域住民に憩いの場を提供  |
|      | 自主防災活動               | ・防災かわら版の発行（年1回）<br>・和木自治振興会の防災訓練の視察・参加   |

注：令和5（2023）年度の大草自治振興会及びおおぐさ夢プラン実行組織の活動を基に整理。

### (3) これまでの取組

「おおぐさ夢プラン（平成31年3月）」に基づく過去4年間の主な取組は次のとおりです。令和2～4年度は、コロナ禍のため活動が制限され、難しい運営を余儀なくされました。（対人接触の抑制、各種行事の中止、予算の備品購入への変更等）

表 4年間の主な取組

| 区 分               | 取 組 内 容  |
|-------------------|--|
| 高齢者等の支援           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者支援活動</li> <li>・ おおぐさ生活支援隊及び見守り活動、研修会の開催</li> <li>・ 大草高齢者等の支援会議の開催</li> <li>・ 「ぶらり訪問だより」の発行（月1回、5～3月）</li> </ul>  |
| 子育て支援・子ども育成       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの遊び場整備</li> <li>・ コンテナハウス（遊具入れ）、遊び道具の購入</li> <li>・ 広場看板作成</li> <li>・ わんぱく広場の開催</li> </ul>  |
| 住民交流・地区行事・伝統文化の継承 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおぐさ茶屋の開催（5～3月）</li> <li>・ 大草納涼夏祭りの開催</li> <li>・ 竜王山早朝登山の開催</li> <li>・ 大草民族資料館整備（照明器具等）</li> <li>・ 大草神楽の支援（奨励金）、大草八幡神社神楽奉納等・大草納涼祭りの開催</li> </ul>  |
| 農林業、観光・交流、その他産業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地場産業振興事業（シイタケ植菌、ホダ木設置）</li> <li>・ 野菜市用幟、簡易テントの整備、野菜市の開催</li> <li>・ 大草地域エリアガイドブック（竜王山高城址説明看板等）の作成・設置</li> <li>・ レンコン収穫体験会の開催</li> <li>・ スーツ・手袋、すのこの購入</li> <li>・ ガイドマップ、看板の作成</li> <li>・ 収穫体験会の開催</li> </ul> |
| 自主防災              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハザードマップ作成・印刷</li> <li>・ 災害時対応マニュアルの作成・印刷</li> <li>・ 防災かわら版の作成・配布</li> <li>・ 防災グッズの配布</li> <li>・ 救急救命講習会の開催</li> </ul>   |
| 情報発信              | —  |

注：令和2～4年度は、コロナ禍で地域行事の中止。

## 2章 地域の魅力・資源と問題点・課題

### 1 地域の魅力・資源

大草地域の魅力・資源について、「おおぐさ夢プラン」の内容に、大草地域ビジョン策定会議、大草地域ビジョンの策定に関するアンケート調査及び大草地域づくり意見交換会（ワークショップ）での意見などを加えて整理すると、次のとおりです。

表 地域の魅力・資源

| 区分     | 魅力・資源  |
|--------|--|
| 自然資源   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的温暖な気候</li> <li>・豊かな自然，水質が良好な水，きれいな空気</li> <li>・四季折々に変化する景観（星，花木，山，雪，紅葉等）</li> <li>・竜王山，天境峰（良好な眺望，登山等）</li> <li>・ホタルの生息地</li> <li>・ヒョウモンモドキ，ハッチョウトンボの生息</li> </ul>   |
| 歴史文化資源 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大草神楽の継承活動（大草神楽保存会，大草神楽こども研究クラブ）</li> <li>・盆踊り，虫送りなどの行事</li> <li>・棲真寺，安国寺，徳正寺，大草八幡神社の文化財，旧大草小学校奉安殿</li> <li>・行武氏関係遺物（細地区）などの史跡・遺跡</li> <li>・豊原のカヤ（下福田地区）</li> <li>・大草民俗資料館，家庭で保存されている民具，農機具</li> </ul>  |
| 産業資源   | <p>&lt;農業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農事組合法人，中山間地域等直接支払組織などの担い手組織</li> <li>・イノシシ，シカなどの有害鳥獣駆除対策協議会</li> <li>・ほ場整備済みの農地，向用倉農業団地（果実の生産団地）</li> <li>・豊富な特産品（米，レンコン，イチゴ，桃，梨，ブドウ，リンゴ，ブルーベリー等）</li> </ul> <p>&lt;観光&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棲真寺（桜，蓮の花），棲真寺公園（広島空港大橋一帯の眺望）</li> <li>・観光農園（白龍湖観光農園，向用倉農業公園，スマイルラボヒロシマ）</li> <li>・Nスタキャンプそらの庭，パークゴルフ場，ゴルフ場</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な森林資源（木，竹，山菜等），マツタケが採れる</li> <li>・企業が比較的多く立地</li> </ul> |
| 生活環境   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な広域交通条件（広島空港，山陽自動車道，（主）本郷大和線（広島中央フライトロード）等）</li> <li>・広島空港を利用して国内外の移動が容易，企業活動に適した条件</li> <li>・自家用車があれば便利な生活（病院，スーパーマーケット等に近い）</li> <li>・高齢者の交通手段になっている大和ふれあいタクシー</li> </ul>  |
| 近隣関係   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりがある，温かい，親切的な近隣関係</li> <li>・住民の結びつきが強い（挨拶，声かけ，災害時の助け合い等）</li> </ul>   |
| 地域活動   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大草公民館での多彩な行事，サークル活動（百歳体操の実施等）</li> <li>・高齢者の見守り（民生委員等），おおぐさ生活支援隊，ぶらり訪問だより</li> <li>・高齢者ふれあいサロン活動，高齢者への配食サービス（あじさい会）</li> <li>・多彩な地域行事（納涼夏祭り大会等），グラウンドゴルフなどのスポーツ活動</li> </ul>   |

## 2 地域の問題点・課題

大草地域の問題点・課題について、「おおぐさ夢プラン」の内容に、大草地域ビジョン策定会議、大草地域ビジョンの策定に関するアンケート調査及び大草地域づくり意見交換会（ワークショップ）での意見などを加えて整理すると、次のとおりです。

表 地域の問題点・課題

| 区分             | 問題点・課題   |
|----------------|--|
| 高齢者の暮らし        | <ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らし、高齢者のみの世帯など支援の必要な高齢者のみの世帯の増加</li> <li>高齢者ふれあいサロンはあるが、男性の参加が少ない</li> <li>高齢者が集う場が少ない、参加するための交通手段がない</li> <li>公共交通機関が大和ふれあいタクシーのみで、運転免許証返納後の生活が不安</li> <li>近隣の高齢者を自家用車で送迎したいが、事故時の不安があり、送迎できない</li> <li>元気な高齢者の就業の場（収入が得られる場）が少ない</li> </ul>                       |
| 若者定住・UIターン・子育て | <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事、勤め先がなく、若者が定住しない、独身の若者が多い</li> <li>地域出身者との交流が少ない、UIターン者が少ない</li> <li>子どもが少なく、子育てしにくい、遊び場が少ない</li> <li>スクールバス通学に伴い子どもと会う機会が減少した</li> <li>子ども同士で遊ぶ機会の減少<br/>(家が離れており、家族による送迎が必要)</li> </ul>   |
| 農林地・農林業        | <ul style="list-style-type: none"> <li>農業後継者の減少、農地管理の困難化、休耕田の増加</li> <li>有害鳥獣被害（イノシシ、シカ、サル、クマ、ヌートリア等）の増加</li> <li>地産地消の仕組みがない<br/>(地域の農産物を非農家の住民が購入できない)</li> <li>山林の荒廃の進行</li> </ul>  |
| 観光・交流          | <ul style="list-style-type: none"> <li>観光・交流情報の発信不足、案内看板の不足</li> <li>幹線道路沿いに立ち寄る場所がない</li> <li>ゴルフ場などへ来訪者が来ても、地域の案内が不十分で周遊しない</li> <li>住民が地域の観光資源を知らず、聞かれても紹介できない</li> </ul>   |
| 生活環境           | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域に安全な避難場所がない(西日本豪雨での大草公民館の床上浸水)</li> <li>未改修の小河川があり、平成30(2018)年7月の西日本豪雨で水害が発生</li> <li>J R山陽本線及びバス路線の利用が不便</li> <li>大和ふれあいタクシーは便数が少なく、目的地まで時間を要する</li> <li>上水道が未整備</li> <li>空き家が増え、地域が寂れた印象</li> <li>医療機関、商店、飲食店、レジャー施設が遠い</li> <li>旧大草小学校が売却され、地域で利用できない</li> </ul> |
| 地域活動           | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事のPR不足、マンネリ化</li> <li>自治区の活動を維持できない地区、大草自治振興会に部員を派遣できない自治区が生じている</li> <li>地域行事のスタッフ、参加者の減少に伴う盛り上がりの低下</li> </ul>   |

### 3章 地域ビジョン

#### 1 地域の将来像

本計画では、「おおぐさ夢プラン」策定時に掲げた地域の将来像を踏襲し、次のとおりとします。

##### <地域の将来像>

安心して誇りを持って住める大草

#### 2 地域づくりの目標設定

##### (1) 目標設定

大草地域の将来像の実現に向け、次のとおり目標を設定します。

##### ア 自治振興会加入率

| 現状値            | めざす方向 | 目標値              | 備考           |
|----------------|-------|------------------|--------------|
| 90%<br>(令和5年度) | 増加    | 100%<br>(令和10年度) | ・現状値は自治振興会調べ |

##### イ 新規事業数

| 現状値          | めざす方向 | 目標値             | 備考       |
|--------------|-------|-----------------|----------|
| -<br>(令和5年度) | 増加    | 3事業<br>(令和10年度) | ・実施計画による |

##### ウ 他団体との連携事業数

| 現状値            | めざす方向 | 目標値                | 備考       |
|----------------|-------|--------------------|----------|
| 7事業<br>(令和5年度) | 増加    | 11事業<br>(令和6～10年度) | ・実施計画による |

##### エ 地区への移住者数

| 現状値           | めざす方向 | 目標値               | 備考           |
|---------------|-------|-------------------|--------------|
| 0人<br>(令和5年度) | 移住促進  | 30人<br>(令和6～10年度) | ・毎年2世帯、6人の移住 |

## (2) 人口の将来見通し

過去5年間（平成30(2018)年から令和5(2023)年）の人口推移が今後も継続した場合の人口の将来見通しを推計すると、地域ビジョン策定年次の令和5(2023)年の1,056人から20年後の令和25(2043)年には約550人になり、令和5(2023)年と比較して概ね半減するものと見込まれます。年齢3区分別人口をみると、各年齢層ともに減少し、特に0～14歳人口の減少は著しくなっており、高齢化率は約65%になるものと見込まれます。

こうした状況に対して、総人口の減少はやむを得ないものの0～14歳人口が増加に転じることを目標として、本計画で掲げる「子ども・若者の声が響く地域づくり」をはじめとする各種取組を推進します。その結果、毎年30歳代前半の夫婦（子ども1人を含む）2組が、過去5年間の動向より増加するものとし、令和25(2033)年の総人口を約690人と設定します。

注：人口推計は、島根県中山間地域研究センターの人口予測プログラムを用いました。

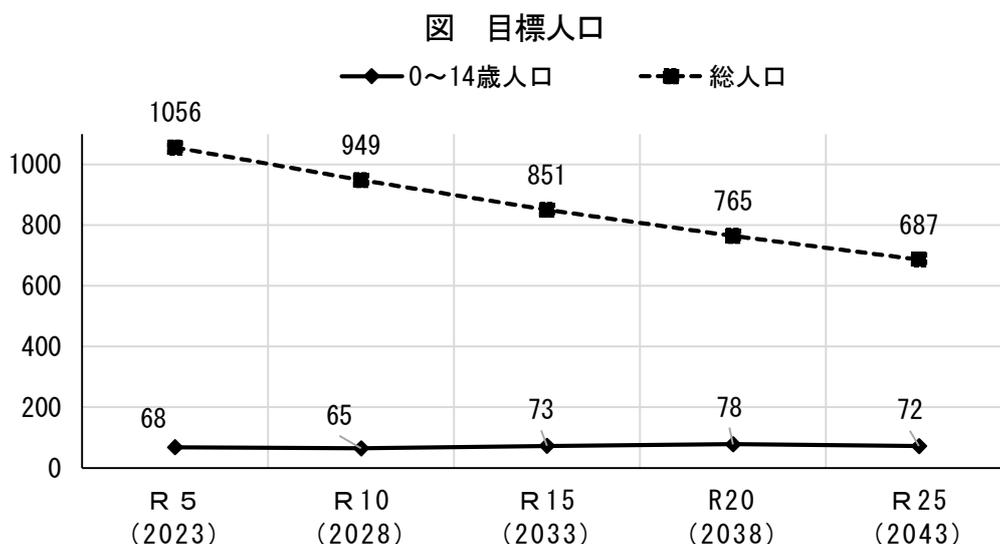


表 人口目標

(単位：人)

| 区分     | 実績         | 推計          |             |             |             |
|--------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|        | 令和5(2023)年 | 令和10(2028)年 | 令和15(2033)年 | 令和20(2038)年 | 令和25(2043)年 |
| 0～14歳  | 68         | 65          | 73          | 78          | 72          |
| 15～64歳 | 440        | 382         | 341         | 282         | 255         |
| 65歳以上  | 548        | 502         | 437         | 405         | 360         |
| 合計     | 1,056      | 949         | 851         | 765         | 687         |

注-1：過去5年間の推移と比較して、毎年30歳代前半の夫婦(子ども1人を含む)が2組増加するものとした。

-2：出生率は、H27.4～R2.3までに出生した人口(0～4歳)をR2.3の20～39歳の女性人口で除した値。男性0.14, 女性0.13。

-3：令和5(2023)年は3月31日現在の人口。

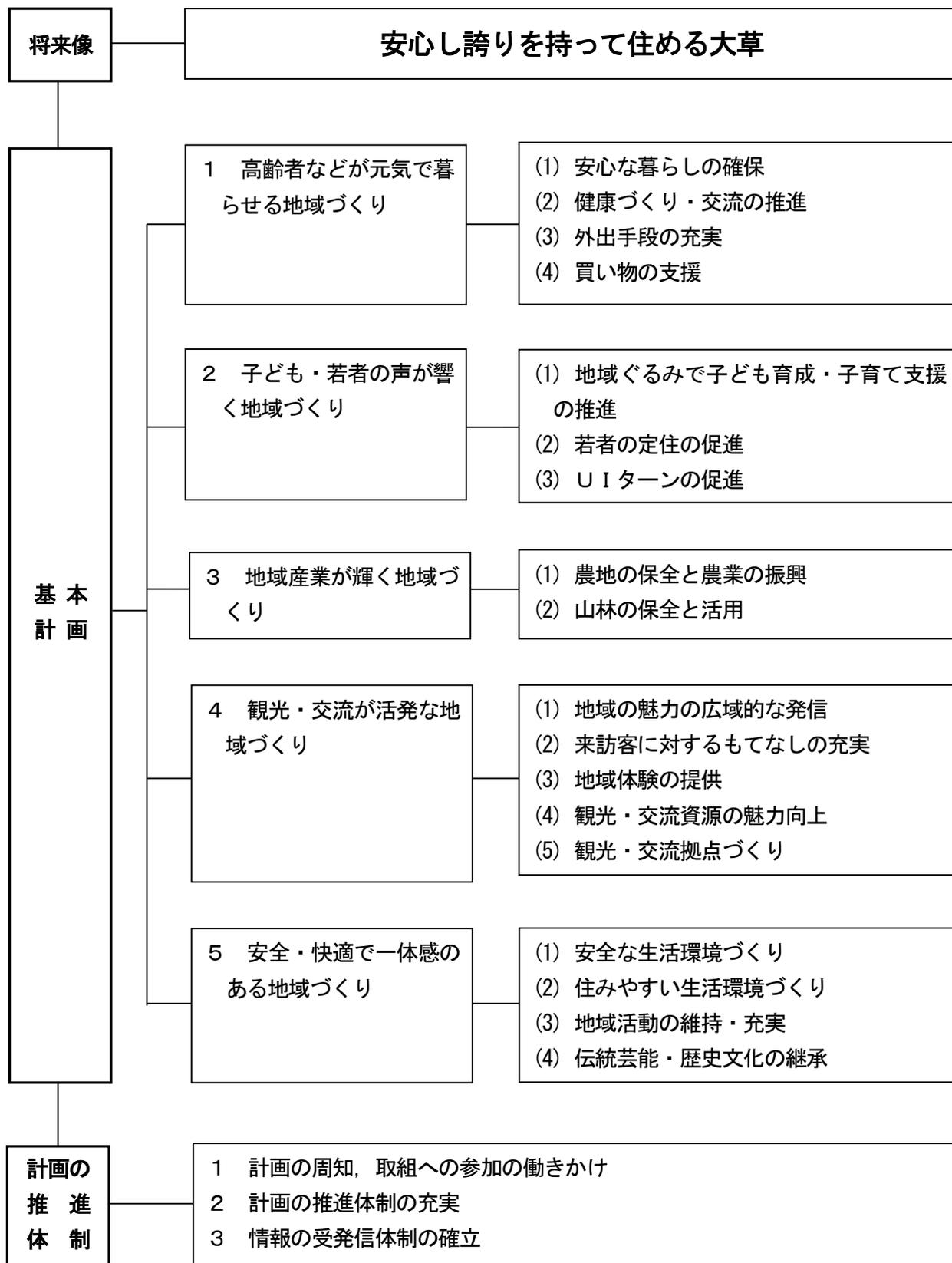
参考 過去5年間の人口推移が今後も継続した場合の人口推計

(単位：人)

| 区分     | 実績         | 推計          |             |             |             |
|--------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|        | 令和5(2023)年 | 令和10(2028)年 | 令和15(2033)年 | 令和20(2038)年 | 令和25(2043)年 |
| 0～14歳  | 68         | 52          | 42          | 30          | 21          |
| 15～64歳 | 440        | 362         | 304         | 228         | 173         |
| 65歳以上  | 548        | 502         | 437         | 405         | 360         |
| 合計     | 1056       | 916         | 783         | 663         | 554         |

### 3 地域づくりの体系

大草地域の将来像の実現に向けて、地域づくりの基本計画及び計画の推進体制を次のように掲げます。



## 4 地域づくりの基本計画

大草地域の将来像を踏まえて、地域づくりの基本計画として5つの柱と主な取組を掲げます。

なお、取組事項は「おおぐさ夢プラン」の内容を踏まえるとともに、大草地域ビジョン策定会議、大草地域ビジョンの策定に関するアンケート調査、大草地域づくり意見交換会（ワークショップ）及び「第2期おおぐさ夢プラン（大草地域ビジョン）」案の骨子に係る意見募集などにおける意見のうち、大草自治振興会をはじめとする各種団体及び住民が取組主体になる事項を「地域づくりのアイデア集」としてとりまとめました。

### 1 高齢者などが元気に暮らせる地域づくり

#### (1) 安心な暮らしの確保

- ・三原市社会福祉協議会大和地域センターと連携して気になる高齢者の情報交換などを行う月1回の会議を継続するとともに、民生委員児童委員、住民、三原市社会福祉協議会などと連携して、見守り活動の充実に取り組みます。
- ・75歳以上の一人暮らし高齢者に対して保健福祉、介護、趣味教養などに関する情報を提供するとともに、訪問見守りを定期的に行うため、「ぶらり訪問だより」の月1回の発行と民生委員児童委員による配布を継続します。
- ・「おおぐさ生活支援隊」の活動をPRし、高齢者などのちょっとした困りごとへの支援に取り組みます。

#### (2) 健康づくり・交流の推進

- ・三原市社会福祉協議会大和地域センターと連携して、各自治区で開催されているいきいき・ふれあいサロンのPR、スタッフの確保及び活動内容の充実にほか、新たなサロンの開設についての支援に取り組みます。
- ・大草地域全体の高齢者を対象とした常設ふれあいサロン（昼食付き）の開設に取り組み、高齢者だけでなく世代間の交流を推進します。

#### (3) 外出手段の充実

- ・大和ふれあいタクシーに対する要望を調査し、大和町自治振興連合会と連携して運行の改善（運行日、運行時刻、イベント時の運行等）と利用の促進に取り組みます。
- ・大和町自治振興連合会と連携して、AI（人工知能）、自動運転システムを活用した新たな生活交通の運行システム事例などを収集し、外出手段の充実に取り組みます。
- ・高齢者を近隣住民が自家用車で送迎する仕組みづくり（タクシー会社と連携したライドシェア）に取り組みます。

#### (4) 買い物の支援

- ・JA・生協・コンビニなどと連携し、高齢者などに対する食料品、日用品などの宅配システムの充実に取り組みます。
- ・「とくし丸」などの移動販売事業者と連携して、大草地域における移動販売の充実に取り組みます。

## 2 子ども・若者の声が響く地域づくり

### (1) 地域ぐるみで子どもの育成・子育て支援の推進

#### ア 交流の場の整備

- ・小学生同士，小学生と高齢者などの交流を推進するため，下校後に地域で学習及び交流ができる場づくりに取り組みます。

#### イ 地域に愛着を持つ子どもの育成

- ・地域の子どもの交流を推進するため，大草公民館駐車場を会場として，子ども達が参加しやすい長期休暇中などに，多様な遊具を活用した「わんぱく広場」の開催を継続するとともに，PR方法などを工夫して参加者の拡大に取り組みます。
- ・子どもの地域への愛着を育てるため，歴史文化，郷土料理（柏餅，団子，よもぎ餅等），農林業，陶芸（定ヶ原の陶芸窯）などを体験学習できる場づくりに取り組みます。
- ・大草神楽の継承活動を行っている大草神楽保存会や大草神楽こども研究クラブに対して，団員の募集，イベント開催時の応援などの支援に取り組みます。

#### ウ 子どもと大人の交流の推進

- ・地域の子どもと大人の交流を深めるため，スクールバスでの登下校時をはじめとした声かけに取り組みます。
- ・夏季休暇中のラジオ体操を，子どもだけでなく地域の大人が参加して盛り上げるとともに，近所づきあい，世代間交流の推進に活用します。

### (2) 若者の定住の促進

- ・地域内及び近隣地域の企業のPR，特産品開発による就業の場の創出などにより，若者に対して大草地域から通勤できる企業への就職を働きかけます。
- ・婚活イベントの開催など若者の交流の場づくりを，三原市及び大和町自治振興連合会などと連携して取り組みます。

### (3) U I ターンの促進

#### ア 地域出身者との交流の推進

- ・地域出身者の名簿収集，定期的な交流，地域行事への参加の働きかけなどにより，地域出身者との継続的な交流を進めるとともに将来的なUターンへ結びつけます。

#### イ 移住希望者に対する相談・支援体制づくり

- ・地域出身者，都市住民などへ地域の魅力，住宅，仕事などの情報を発信し，移住希望者の掘り起こしに取り組みます。
- ・移住希望者に対して地域体験の機会を提供するため，お試し居住の場及び移住相談員の確保などに取り組みます。

### ウ 空き家、農地の斡旋

- ・移住希望者に空き家を斡旋するため、空き家の把握、空き家所有者の意向調査、賃借・売買意向のある空き家の家財整理の応援、空き家バンクへの登録の働きかけなどに取り組みます。
- ・移住希望者に空き家の斡旋と併せて、家庭菜園の提供及び農業指導に取り組みます。

## 3 地場産業が輝く地域づくり

### (1) 農地の保全と農業の振興

#### ア 有害鳥獣対策の推進

- ・有害鳥獣対策の技術向上を図るため、有害鳥獣対策研修会、捕獲技術講習会などへの参加の支援に取り組みます。
- ・効果的な有害鳥獣対策を実施するため、有害鳥獣駆除対策協議会、自治区などと連携して一体的な駆除活動、共同防護策の設置などに取り組みます。

#### イ 農業の担い手の育成

- ・地域の若者の農業への関心の醸成、J A及び農事組合法人と連携した農業技術研修会などの開催に取り組みます。
- ・農事組合法人と連携して地域外からの新規就農者の受け入れ、育成に取り組みます。

#### ウ 多彩な特産品づくり、ブランド力向上の推進

- ・農業法人及び農家と連携して、米、レンコン、イチゴ、桃、梨、ブドウ、リンゴ、ブルーベリーなどの多彩な特産品生産の推進及びブランド力の向上とこれらの野菜・果実を活用した加工食品の開発（レンコン酢、レンコンパウダー等）に取り組みます。

#### エ 農産物販売の推進

- ・来訪客や地域内の非農家が農産物を購入できるように、農産物直売所の設置に取り組みます。
- ・大草地域及び近隣地域と連携して、インターネットを活用した特産品の総合的なPR、販売体制づくりに取り組みます。

#### オ 休耕田の活用

- ・休耕田を活用して市民農園を整備し、都市住民への貸し出しに取り組みます。

### (2) 山林の保全と活用

- ・森林組合などの関係機関と連携し、山林の再生計画づくりと計画的な植林に取り組むほか、間伐材を活用した薪づくり、薪ストーブ導入、竹の活用などに取り組みます。
- ・山林の保全への関心を高めるため、子育て世代などに対してシイタケ栽培、山菜採りなどの里山体験の場の提供に取り組みます。

## 4 観光・交流が活発な地域づくり

### (1) 地域の魅力の広域的な発信

- ・インターネット（ホームページ，SNS，ユーチューブ等）を活用した情報発信に取り組みます。
- ・マスメディアを活用してイベントなどの地域情報を発信し，知名度の向上に取り組みます。

### (2) 来訪客に対するもてなしの充実

- ・来訪客の地域周遊を促進するため，観光エリアガイドマップ（13自治区に配置）の維持・保全に取り組むとともに，史跡案内看板の整備や観光パンフレットの作成に取り組みます。
- ・来訪客が地域の魅力を満喫できるように，季節，目的，滞在時間などに応じた周遊できるコースづくりに取り組みます。
- ・住民が来訪客に地域の魅力を紹介できるように，地域学習を推進します。

### (3) 地域体験の提供

- ・季節に応じた多様な地域体験を提供するため，「だいわレンコン収穫体験」をはじめとする様々な地域体験メニュー（自然，歴史文化，農林業等）づくりに取り組みます。
- ・地域体験の提供に向けて，体験を受け入れる担い手の確保，育成，観光協会などと連携した情報発信などに取り組みます。

### (4) 観光・交流資源の魅力向上

#### ア 棲真寺の魅力の向上

- ・花の寺棲真寺の魅力の向上を図るため，棲真寺と連携して草刈りなどの環境保全活動を継続するとともに，春の桜，夏の蓮に加えて秋と冬の花の導入を図るほか，休息施設の整備，棲真寺祭りの充実などに取り組みます。

#### イ その他資源の活用

- ・地域住民に親しまれている竜王山の登山道の整備や早朝登山を継続するとともに，花木（桜，紅葉，カエデ，イチョウ等）の植樹を行い，竜王山の高めます。
- ・天境峰の良好な眺望を確保するために雑木の伐採，展望広場の整備などに取り組みます。

### (5) 観光・交流拠点づくり

- ・大草地域を通過する車両の立ち寄りや地域周遊を促進するため，（主）本郷大和線（広島中央フライトロード）が走る各地域と連携して，大和地域の新たな観光・交流拠点の整備を検討します。

## 5 安全・快適で一体感のある地域づくり

### (1) 安全な生活環境づくり

#### ア 防災意識の高揚

- ・「防災かわら版」の発行の継続，内容の充実に取り組み，住民の防災意識の高揚に努めるとともに，自治区単位で住民一人ひとりの災害時の避難行動について話し合い，近所で助け合う体制づくりを働きかけます。
- ・大草地域独自のハザードマップ，災害時マニュアルについて，定期的な内容の点検及び更新に取り組みます。
- ・防災講習会，AED（自動体外式除細動器）を活用した救急救命研修会の開催などを継続し，防災意識の啓発に取り組みます。

#### イ 迅速な避難行動への準備

- ・災害時の避難指示を迅速に伝達する体制づくり（ライン，電話等によるネットワークづくり）に取り組みます。
- ・災害時の避難行動要支援者に対する避難支援体制づくりと避難行動要支援者名簿の定期的な更新に取り組みます。

#### ウ 災害への準備・的確な対応

- ・自主防災活動に指導的な役割を果たす人材の育成（防災士取得支援，各種防災研修・講演会への派遣等）に取り組むとともに，三原市消防団大和南分団との連携を強化します。
- ・災害時における大草自治振興会と自治区及び各種団体の連携体制の強化，定期的な避難訓練を実施するとともに，避難所運営体制の強化及び災害時備品の計画的な備蓄に取り組みます。

### (2) 住みやすい生活環境づくり

#### ア いこいの場の充実

- ・現在，大草公民館内に設置している「いこいの場」のPRの強化に努めます。
- ・空き家を活用した誰もが気軽に訪れることができるいこいの場の整備を検討します。  
（空き家の修繕，備品の整備，運営人材の確保等）

#### イ 空き家，休耕田の適正な管理，活用

- ・空き家，休耕田の所有者調査を行い，適正な管理を働きかけるとともに，賃借・売買意向のある空き家所有者への支援（家財の片付け，空き家バンクへの登録等）に取り組みます。
- ・空き家を活用して，商店，古民家カフェなどの経営を希望する移住者の募集に取り組みます。

## ウ 豊かな自然環境の保全

- ・ホタル、ヒョウモンモドキ、ハッチョウトンボなどの生息環境の維持など、豊かな自然環境の保全に取り組みます。

### (3) 地域活動の維持・充実

- ・気軽に声をかけあい、支え合う近隣関係の維持・強化に取り組みます。
- ・大草地域最大の行事である納涼夏祭り大会について、地域住民及び帰省者などの参加を促進するとともに、事業内容の充実に取り組みます。
- ・コロナ禍中の開催を中止していた竜王山早朝登山、ふれあい駅伝大会、敬老長寿祝賀、4地区対抗パークゴルフ大会などの行事については、PRの強化、事業内容の見直しなどにより、参加者の拡大に取り組みます。
- ・担い手の減少、高齢化の進行に伴い自治区による草刈りなどの環境保全活動が困難化しつつあるため、地域全体での環境保全体制づくりに取り組みます。

### (4) 伝統芸能・歴史文化の継承

- ・大草神楽、盆踊り、虫送りなどの伝統芸能の継承の支援に取り組みます。
- ・地域の歴史文化を学習するため、神社仏閣の紹介及び案内マップの作成に取り組みます。
- ・大草民族資料館において、明治以降の生活を偲ばせる民具、農機具等の収集、保全、展示活動を行っている団体の支援に取組みます。
- ・神社仏閣、民具、農機具等の資源を活用して、健康づくりウォーキングや歴史文学学習イベントの開催に取り組みます。

## 5 計画の推進体制

### (1) 計画の周知，取組への参加の働きかけ

- ・自治区及び各種団体の会合などで「第2期おおぐさ夢プラン（大草地域ビジョン）」の周知に取り組みます。
- ・住民一人ひとりの地域づくりへの当事者意識を醸成するとともに，地域づくり活動への参加を働きかけます。

### (2) 計画の推進体制の充実

#### ア 幅広い参加と持続的に活動できる体制の確立

- ・「第2期おおぐさ夢プラン（大草地域ビジョン）」の実行にあたっては，効果的な地域づくりを推進するために，自治振興会の事業部とおおぐさ夢プラン実行組織との一体的な実行体制づくりに取り組むほか，自治区及び各種関係団体との連携の強化及び活動への支援に取り組みます。
- ・自治振興会などへ女性，若者の参加を促進するため，同世代の横の結びつき，若い世代の多い消防団，保護者会などを活用した参加の働きかけ，会議の開催曜日・時刻への配慮などによる参加しやすい環境づくりに取り組みます。
- ・地域の人材，事業所などの得意分野を整理したリストを作成し，地域づくりに適材適所で協力してもらおう体制を確立します。
- ・講習会・研修会などへの派遣，講演会の開催，先進地視察の実施などによる人材育成に取り組みます。

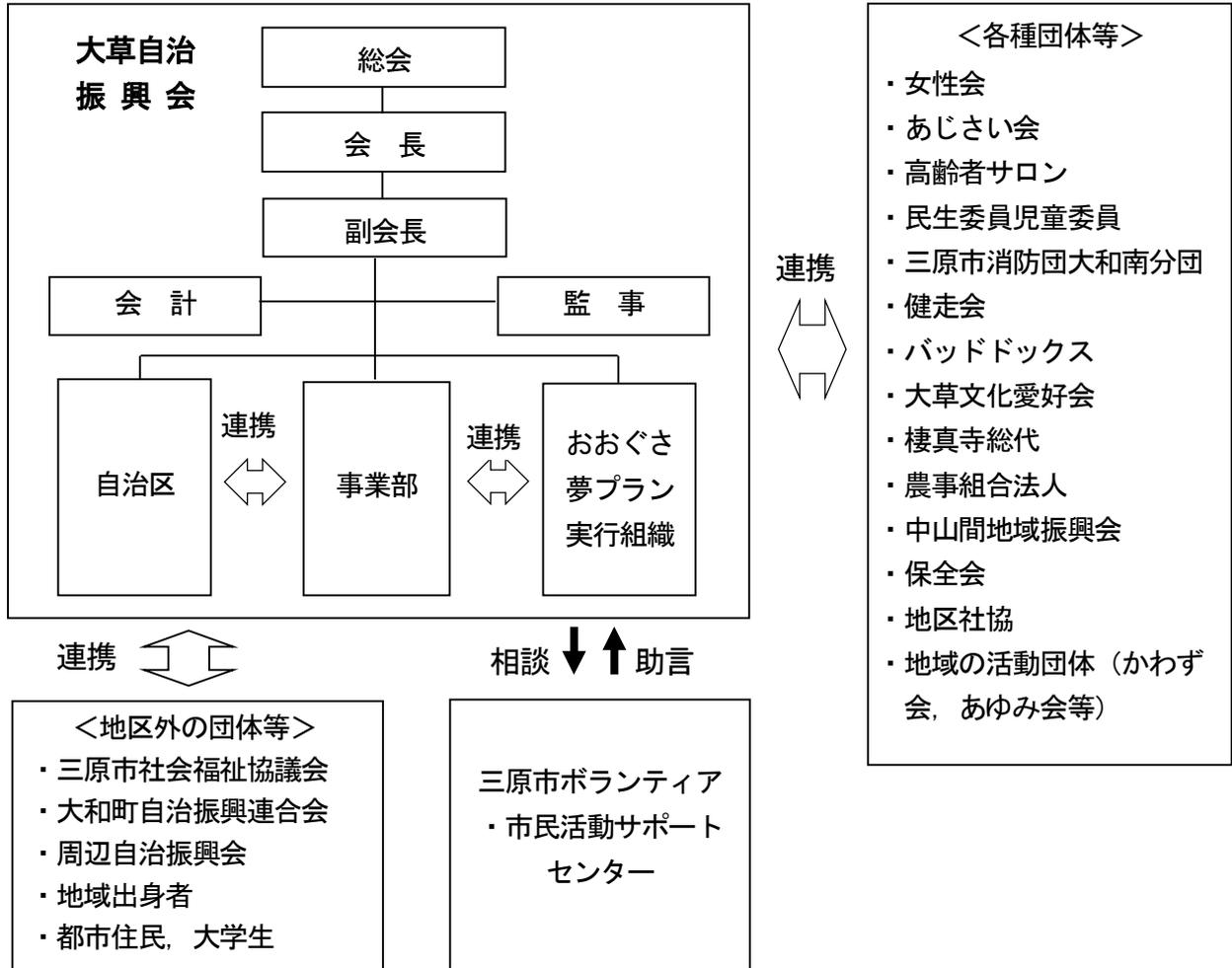
#### イ 地域外の個人，団体との連携の強化

- ・三原市ボランティア・市民活動サポートセンターと連携し，地域づくりへの助言，専門的人材の紹介・派遣などの支援を受け，地域づくり活動の維持・充実を図ります。
- ・三原市の中山間地域の共通課題（高齢者の生活支援，UIターン促進，観光・交流，情報発信等）へ効果的に取り組むため，大和町自治振興連合会及び周辺自治振興会などとの連携を強化します。
- ・地域外の団体との連携を強化して地域づくりへの応援を受けるとともに，地域出身者，都市住民，大学生などに対して，地域行事への参加や地域づくりへの応援を働きかけます。

#### ウ 活動財源の確保

- ・活動資金を確保するため，収益事業の導入を積極的に検討するほか，国，県，市などの支援制度の活用を図ります。
- ・農産物販売，観光・交流事業をはじめとする収益事業の受け皿として，NPO法人，一般社団法人または住民出資の地域づくり会社などの設立に取り組みます。

図 第2期おおぐさ夢プラン（大草地域ビジョン）の実行体制



### (3) 情報の受発信体制の確立

#### ア 地域外への情報の受発信

- ・大草地域の情報を広域的に発信するため、自治振興会のホームページを開設・運営し、地域出身者、都市住民、大学生などに対して地域の魅力や年間行事・祭りのスケジュール、移住支援情報などを発信するほか、SNSでの情報発信に取り組みます。
- ・各種団体、個人のホームページ・SNSを通じて、地区外の知人・友人などへの大草地域の情報発信を働きかけます。

#### イ 地域内への情報の受発信

- ・地域情報を住民一人ひとりに周知できるように、回覧板による情報周知の継続、「夢プラン通信」の充実に取り組みます。
- ・若者世帯に対してはホームページ・SNSを活用した情報の受発信の強化に取り組みます。
- ・役員会、部会、おおぐさ夢プラン実行組織などの会合の日程調整、出欠確認などにおいてホームページ・SNSの活用に取り組みます。

#### ウ 人材の確保・育成

- ・自治振興会のホームページ・SNSを管理、活用できる人材の確保・育成に取り組み、タイムリーな情報の受発信体制を確立します。